

リーディングスキル

《白本から赤本へ》

職員室には、各学年に「A I vs. 教科書が読めない子どもたち」（表紙が白いので、以下白本）と「A I に負けない子どもを育てる」（表紙が赤いので、以下赤本）という本があります。

時間のない方は、赤本だけ読んでもいいかもしれませんが。しかし、白本から読まないで、なぜそうなったのかという背景や経緯がわかりません。背景や経緯がわからないと、納得が伴わないために、やらされ感がつきまといまいます。こうなると、成果は望めません。

白本を読んでいると、最初は何度もA I のことが出てきて、あまり興味がもてない、つまらないという状態に陥るかもしれません。これが2/3ぐらい続きます。もう読むのをやめようかと思いはじめた頃から、私たちに直接関係する内容になっていきます。

では、最初の2/3は必要ないのかというと、そうではありません。この部分がないと、その後の白本の内容、そして赤本の内容につながっていかないのです。子どもたちが教科書を読めないという実態から、ではどうすればいいのかという処方箋のようなものは、赤本に出ています。私たちにとって大いに参考になるものです。

《読解力とリーディングスキル》

今年度の野田中学校の研究における大きな柱は、リーディングスキル（RS）を身に付けさせることです。福島市の事業でも福島県の事業でも「読解力」という言葉を使っています。読解力というと、人によってイメージするものが違ってくると思われれます。昔から使ってきた読解力、PISA型読解力、そしてリーディングスキルのような基礎的・汎用的読解力などが挙げられます。

リーディングスキルとは、教科書や新聞、マニュアルや契約書などの意味や意図を迅速かつ正確に読み取る力です。私たちもそうですが、生徒は社会に出て新聞やマニュアル、手引書、契約書の類を日常的に読むようになるでしょう。その際、正確に意味や意図をつかむことができなかつたらどうなるでしょう。かなり困るはずです。

《リーディングスキルテスト》

リーディングスキルテスト（RST）は、リーディングスキルすなわち基礎的・汎用的読解力の実態を把握し、分析するためのものです。いくつかの例題が世に出ています。

〔例題〕 次の文を読みなさい。

仏教は東南アジア、東アジアに、キリスト教はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアに、イスラム教は北アフリカ、西アジア、中央アジア、東南アジアにおもに広がっている。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

オセアニアに広がっているのは（ ）である。

- ① ヒンドゥー教 ② キリスト教 ③ イスラム教 ④ 仏教

この問題では、中学生の3人に1人以上が正解できませんでした。野田中学校の生徒の3人に1人、クラスの1/3が②のキリスト教と答えられないとしたら、どうでしょう。由々しきことです。

子どもたちが教科書を読めないのは、読めなくなるような授業を私たちがしてきたということです。早急に授業改善が必要です。ところが、処方箋は簡単ではありません。だからこそ、みんなで取り組むのです。全教科で考えていくのです。中学校卒業段階までに教科書を正しく読めるようにしてあげることが、私たちの使命です。